

皆さん、もうすぐ夏休みです。さて、せっかくの夏休みなので、海やプールで楽しく遊びたいところですが、水難事故には注意が必要です。

令和４年の全国の水難事故の発生件数は、1346 件です。前年より 49 件減少していますが、やはり、まだ全然無くなりません。水難者は 1640 人で、うち死者・行方不明者は 26 人です。

それでは、水難事故を防ぐためには、どうしたらよいのでしょうか。

水難を未然に防ぐためには、海や河川など、それぞれの自然環境の特徴を理解し、水難につながりやすい危険な場所、危険な行為などを知ることが重要です。

詳しく説明しますと、まず危険箇所の把握が重要です。釣りや水泳に出かける際に、転落等の恐れがある場所、水温の変化や水流の激しい場所などを事前に把握して、近づかないようにしましょう。

また、的確な状況判断も重要です。海や河に行く際には、事前に気象情報を確認し、危険性の高いときは、釣りや水泳、バーベキューなどを行わないようにしましょう。海においては天候の変化や波の高さに注意を払い、離岸流や高波が発生する恐れが高いときは海に入らないようにしましょう。体調が悪いときなども、海に入ってはいけません。

さらに、遊泳時などの安全確保も重要です。「危険区域」と標示された区域内に入らない、安全な方法で遊泳する、海水浴場として開設されているか確認するなど、気を付けるべき点はたくさんあります。また、釣りやボート等で水辺に行くときは、必ずライフジャケットを着用しましょう。

そして、保護者等の付き添いも重要です。子供一人では水遊び等をさせず、幼児や泳げない学童等には、必ずライフジャケットを着用させ、目を離さないようにしましょう。

(1年 原)

r04suinan_gaikyou.pdf